"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２２年７月 ～ ２０２３年６月

国際会長主題　「 輝かそう、あなたの光を 」
アジア会長主題　「 新しい時代とともに、エレガントの変化を 」
東日本区理事主題「 未来に向けて今すぐ行動しよう 」
東新部部長主題　ＡＬＬ 東新部、始動！
「Change! 2022 ラストスパート、ポスト始動」

会　　長 今井　武彦
副 会 長 神保伊和雄
直前会長 城井　廣邦

書　記　　伊丹　一之
会　計　福島和州太郎
担当主事　本多　良章

２０２３年５月本例会（735回）

（ 強調月間：ＬＴ／ユース ）

今 月 の 聖 句

怠け者の道は茨に塞がれ、
正しい人の道筋は整えられる。
（箴言15-19）

The way of the lazy man is like a hedge of thorns.
But the way of upright is a highway.

第26回東日本区大会に参加しよう！！

日 時：6月3日（土）～4日（日）
場 所：APIO 甲府（tel 055-220-6111）

5 月 本 例 会

日 時　2023年5月16日(火) 18：00～20：00
場 所　東京ＹＭＣＡ東陽町センター ＹＭＣＡホール
会 費　１，５００円

ご欠席の方は12日（金）にまでに福島までご連絡下さい

５月　ＬＴ／ユースについて

LT(Leadership Training):会員のリーダーシップ開発、向上を目的とした研修。区では部、クラブ役員の研修を実施。クラブは下田会議で次期に向け研修を実施。

ユース:組織にはメンバーの活気と若い人達のYMCAへの参画が必要です。野尻キャンプを通しての交流には、様々な可能性が秘められています。　（長谷川 記）

５月本例会プログラム

受 付　城井　廣邦
司 会　福島和州太郎

開会点鐘	会 長　今井　武彦
ワイズソング	一　同
ゲスト・ビジター紹介	司　会
今月の聖句・感謝	神保伊和雄
楽しい食事	
卓　話　「わたしとＹＭＣＡ」	
むかでクラブ担当主事	本多　良章
強調月間アッピール	長谷川正雄
ハッピーバースデイ・結婚記念日	司　会
スマイル	司　会
諸報告	
閉会挨拶・点鐘	会 長　今井　武彦

HAPPY BIRTHDAY

16日　城井　廣邦

結婚記念日おめでとう

14日　城井廣邦・姚子　18日　伊丹一之・節子

２０２３年 ４月 の 記 録 （＊累計は期初からの24累計：）

会員出席状況				メーキャップ記録	スマイル	9.500円
正 会 員	7 名	出席(ビジター)	1 名	城井廣邦 4/25 第二例会	ＢＦポイント　現金累計	円
功労会員	1 名	出席(ゲスト)	3 名	福島和州太郎 4/25 第二例会	切手累計	
在籍者数	8 名	出席(リアル)	9 名			
出席(正会員)	5 名	出席(Zoom)	1 名	2名	リングプル　累　計	655.0 kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数	10 名	4月出席率　100%	むかで基金　今月分	円

会費振込先　　みずほ銀行　亀戸支店（普通）３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

４　月　本　例　会　報　告

4月本例会は、4月18日（火）18時より、東京YMCA東陽町センターのYMCAホールにおいて、Zoom併用で開催されました。コロナ禍もだいぶ下火になったとはいえ、各テーブルに一人ずつというゆったりとしたレイアウトです。

司会は、福島和州太郎君が欠席となったために今井武彦会長が担当、開会点鐘で始まりました。ワイズソングを歌い、ゲスト・ビジターとして本日のスピーカー・宮田康男茨城YMCA総主事、深尾香子東新部部長、鳩山徹郎野外教育・ユース・マネージメントディレクター、今月から東京むかでクラブの担当主事になられた本多良章主事が紹介されました。今月の聖句・感謝を神保伊和雄君が捧げ、いつもの升本のお弁当による楽しい食事の時間となりました。

本日の卓話は、元むかでクラブの担当主事であった宮田康男茨城YMCA総主事から「むかでワイズから20年」というタイトルで、次のようなお話をいただきました。【写真下】

思い出すと、むかでは上品なジェントルマンで、英語のワイズソングが懐かしい。神保さんからは「がんばれ！」のファックスが励みになった。長谷川さんの絵は2枚あっていつも見ている。櫻井ベーコンも楽しみ。今井さんとは入れ替わりに入会。伊丹さんからは毎年年賀状をいただく。髙津さんからはハンコをいただいた。

東京YMCAでの最後の仕事は、神田会館を閉じることだった。電気もない会館に残って、残務処理をした苦しい5ヵ月間を送った。

茨城YMCAに移ってからは、野尻キャンプを使った活動も行って、筑波大などのリーダーたちに、小林弥太郎の言葉を伝えて、活躍してもらっている。

卓話の後は、通常のプログラムで例会を閉じました。

（伊丹　記）

出席者　リアル：今井、伊丹、神保、長谷川、本多
ゲストリアル：宮田康夫茨城YMCA総主事、深尾東新部長、由井、鳩山、
Zoom：櫻井、髙津　　（敬称略）

第3回東新部評議会・次期クラブ役員研修会 報告

4月22日（土）13：30～16：30、表記の会が東京YMCA東陽町センターホールで開催されました。

審議事項では、前期積み残しの0号議案から4号議案までが0号議案を除いて承認されました。報告事項では、部長以下部書記、部会計、事業主査等から報告がありました。

休憩をはさんで、次期役員研修会では、部のスケジュール、部大会、次期の活動方針が語られました。（伊丹　記）

出席者：今井、伊丹、神保、本多　　Zoom：長谷川

W4W 東陽町センタークリーンウォーク参加報告

4月14日、東京YMCA東陽町センター主催のクリーン・ウォークにW4Wの一環として参加。

当日は、天気に恵まれ、12：45～13：30まで、私たちのグループ5人（東京クラブ、東京ひがしクラブ、むかでクラブの有志）は、YMCA東陽町センターの前の道を東陽町の駅方向に歩き、東陽町の交差点を右に曲がりクリーン・ウォークをしました。

なお、当日の参加者はYMCA日本語学校の生徒20名余にYMCA賛助会企業の職員の方も参加し、別のルートのクリーン・ウォークしていました。

私たちは、道路脇の植栽の植え込みの中に、ポイ捨てされた紙ゴミ・タバコ吸い殻、飲料缶・ペットボトル、小児用運動靴等を拾い集めました。さらに、ハトの死骸まで収集した方がおりました。

人は、目につきにくい所に、ごみを気軽に捨てる方がいることを、改めて確認しました。一人一人の良心の大切さを思いました。　　（今井　記）

むかでクラブ参加者：神保、今井

【クリーン・ウォークで汗を流したワイズの面々】

会　長　通　信

今年のイースター（復活祭）は4月9日（日）でした。その前々日4月7日（金）は、キリストの受難日（十字架に着けられた日）でした。コロナ禍で3年間の礼拝を十分にできなかったことを取り戻すべく、祈りの時を持てたことは感謝です。

久しぶりで、映画館に行きました。黒澤明監督の映画「生きる」（昭和27年制作・主演：志村喬）のリメーク版として

イギリスで制作された映画を観ました。主人公は、30年余役所に勤務し、今は市民課長。毎日、仕事のたらい回しに終始し、市民からの陳情も実質、無視続ける。そのような日々の中で、自身は体調不良で病院を受診し、医師より余命宣告を受け落胆。しかし、以前部下だった女性の生き方を知って、自身の残りの人生を精一杯生きようと決意し、今まで陳情を受け、無視していた児童公園建設に全力投球し、諸所の困難を克服し、公園完成にこぎ付ける。彼は、雪の降る中、その公園のブランコを漕ぐうちに天に召されるというストーリーです。

私たちも、この映画の主人公のような人生の最後の時を迎えたいものです。そのためには、ワイズの「地の塩、世の光」となるべく、活動しましょう。

今期も、残り2か月となりました。この2か月間が、次年度の活動の準備の時として与えられております。担当主事も由井さんから本多さんに代わりました。こころ新たに進みましょう。　（今井　記）

＜　５月の予定　＞

1日（月）東京町田コスモス・5月本例会
2日（火）東京多摩みなみ・5月本例会
9日（火）東京・5月本例会
10日（水）東新部会長会（Zoom）
16日（水）東京むかで・5月本例会　東陽町（18:00～）
17日（水）東京町田スマイリング・5月本例会
19日（金）東京世田谷・5月本例会
23日（火）東京むかで・第二例会　Zoom（18:00～）
27日（土）東新部事務引継ぎ会（Zoom）

＜　６月以降の予定　＞

20日（火）東京むかで・6月本例会　東陽町（18:00～）
27日（火）東京むかで・第二例会　Zoom（18:00～）

東新部部大会実行委員会報告

第3回東新部評議会・次期クラブ役員研修会が4月22日に東京YMCA東陽町センターで開催されました。

今井武彦次期東新部部長より、10月7日に行われる第27回東新部部大会の概要が、素敵なチラシで「地の塩、世の光になろう」のスローガンをテーマに、丁寧に説明されました。

プログラムは東京むかでのシニアY・Y・Yキャンプ紹介と体験のアレンジで、高齢化社会へのチャレンジ、これからの時代のワイズメンズクラブの在り方を、そして、仲間創りを提案してゆきたいと思っています。

プログラムの表現及び字句の加筆・訂正を受け入れ、7月の新年度、部評議会に向かって歩みを進めることになりました。

部大会実行委員の☆★☆★☆★☆君、素晴らしいチラシありがとう。　（神保　記）

東京ＹＭＣＡニュース

★6月早天祈祷会【東京YMCA第880回早天祈祷会】
日　時：現在検討中

★「第20回東京YMCA会員大会」
【日　時】2023年5月27日（土）13:00～15:30
【会　場】山手コミュニティーセンター　（YouTube配信の視聴もあり）
【参加費】無料
【プログラム】
第1部：開会礼拝
第2部：運営委員推挙／名誉会員推挙／ボランティア表彰／勤続25年職員表彰／2022年度活動報告
第3部：ウクライナ支援報告（横山由利亜氏）
バングラデシュ訪問報告（バングラ訪問団）
第4部：交流「キャンプソングを歌おう」
＊石巻物産展も予定しています。
【申　込】フォーム→　https://tinyurl.com/23hfpwyl
5月19日（金）まで（お早目にお申込みをいただけると助かります）
東京YMCAのHPでもご案内しています。
https://tokyo.ymca.or.jp/news/2023/04/20230418-1.html

★【感謝報告】「第32回チャリティーゴルフ大会」
4月13日にPGM総成ゴルフクラブで開催され、24グループ、87名が参加しました。コロナの感染対策も緩和傾向にありますが、終了後の表彰式やパーティーは実施しませんでしたが、プレー後に「くじ引き抽選会」を行い、企業や個人の方よりご協賛いただいた多くの商品を参加者にお渡ししました。

今回の参加賞は、成田市周辺の採れたて地元野菜や新鮮地玉子をセットにしてお渡しすることもでき、好評の内に終了することができました。今回の支援金約50万円は、障がい児プログラム支援、フレンドシップ（経済的に困難なご家庭の子どもプログラム支援）、不登校の子どもたち支援、国際協力活動（バングラデシュ、ミャンマー、ウクライナの子どもたち支援）として用います。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

※その他
★野尻開荘ワークキャンプ（5月4日（木）～6日（土）実施）
参加者：ボランティア15名、スタッフ3名　計18名
内容：主にキャビンの清掃・雪囲いの取り外し・ボート等を湖岸へ移動などの作業を実施。　（本多　記）

４ 月 第 二 例 会 報 告

第二例会は4月25日（火）18:00よりZoom方式で開催されました。検討、確認事項は以下の通りです。

1．ブリテン5月号の編集内容の検討確認。

・編集担当は福島君、原稿締切は5月5日（金）、印刷会は5月16日（火）本例会前の16：30より行う。

・原稿担当者：本例会報告・伊丹、第二例会報告・長谷川、評議会報告・伊丹、ランドセル関連報告・福島、次期部大会準備報告・神保、他

2．5月例会卓話者は、4月着任の本多良章担当主事。

3．5月本例会で次期・下田会議の内容案について協議。最小限の項目内容とし、掲載項目案を長谷川が提示。

4．東日本区大会（甲府）に今井会長が出席、バナー持参。

5．7月本例会について。

・部長公式訪問（今井次期部長）の予定。

・7月キックオフ本例会を他クラブと合同例会とする方針について協議、検討。

・多摩みなみ、町田スマイリングの2クラブでの合同でキックオフ例会を予定。（町田コスモスは加わらず。）

・東京センテニアルYは、次年度からのクラブ運営について、5月本例会でメンバー5名により協議、方針決定。

6．その他

・本多担当主事の予定など。 6月中旬~9月中旬は野尻。ご自身の誕生日は9月28日。

・60周年記念誌は、当時のメンバーの関連原稿が未完で、神保、伊丹で最終調整中。（長谷川記）

出席者：今井、伊丹、城井、神保、長谷川、福島、本多

4月会計報告・プルタブ報告

1 月間収入・支出合計　　期間 4/1～5/2

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	1,500 円	15,082円
活動基金部	9,500円	- 円

■月次収支合計：▲4,082円

■現預金残高（現在）：459,905円

（収支の主な内訳）

・活動基金収入：スマイル9,500円

・経常収入：例会参加費1,500円

・経常支出：例会食事費11,862円、講師謝礼3,000円

（福島　記）

2 プルタブ　4月預かり分

協力者名	重量	協力者名	重量
神保伊和雄 G	1.7kg	今月合計	1.7kg

皆様の応援協力があってナントカ集められました。あと一息です。手を、知恵を、プルタブを、お願いします。

（神保　記）

編 集 後 記

ネイト「そんな暮らしがどうして可能なの？つまり、自分が明日死ぬとわかっていて、それでも生きるなんて。」

ブレンダ「私は 6 歳の頃からずっと、自分は明日死ぬんだと思って、心の準備をしてきたの。」

ネイト「どうして六歳から。」

ブレンダ「核戦争が世界にどんな影響を及ぼすかを書いた記事を読んだの。で、あっ、これはきっと起きるなって、たちまち気づいたのよ。」

ネイト「六歳の頃の話なんだよね？」

ブレンダ「で、その後は、毎朝目を覚ますたびにびっくりするの。ええっ、全部、そのまんまじゃないのって。」

ネイト「ううむ、そんな生活がどうして可能なのか、ぼくには理解できないよ。」

ブレンダ「あらそう、わたし、みんなそうやって生きているのだとばかり思っていたわ。」

『ハルマゲドン　人類と核（ロドリク・ブレースウェート、平賀秀明訳）』より、会話の引用元は『米テレビ・コメディー「シックス・フィート・アンダー」（2001-2005）』

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ウクライナ戦争が勃発してから1年以上の時が流れ、流血の応酬は引きも切らず、怨恨の連鎖はとどまるところを知りません。ロシアがベラルーシに戦術核兵器を配備することに合意し、7月にも配備される見通しです。

かつての冷戦期には、「相互確証破壊」（Mutual Assured Distraction、MAD；両超大国のいずれかが核の引き鉄を放てば必ずお互いに破壊しつくすという概念）という薄氷の計算の上に、全人類の生存が懸かっていた時代がありました。私はこのとてつもなく恐ろしく、どこか浮世離れした概念を、30 歳になって初めて知りました。そして、今核をめぐる最新の議論、その力の均衡概念はどうなっているのか、何か希望はないのか、どうしても知りたくなり、この本（『ハルマゲドン　人類と核』）を手に取りました。元英外交官（ソ連崩壊前後にモスクワ駐在大使）が書いた本で、非常に専門的で上下巻に渡る大作でしたが、時間をかけてついに読了しました。

結論を言えば、ほとんど希望はありませんでした。下巻の最後の一文は、“だがしかし、「ダモクレスの剣」（注：核兵器のこと）は、それを吊す糸こそ多少太くなったけれど、今も変わらず、人々の頭上にあり続けるのである。”と締めくくられています。読後感としては、ひたすらに暗い気持ちになっただけなのですが、核をめぐる議論と今そこにある危機を嫌というくらい考えさせられました。人類は幸運にも今日まで生き延びて、これまでほとんどあらゆる苦難を乗り越え復興してきましたが、皆殺しからの回復は不可能でしょう。今やブレンダの気持ちが私には良くわかります。

それでも希望を捨てず、日本の選挙や政治のおかしな状況を何とかできないものか、そう思い前進を続けます。

（福島　記）